

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—こだわり&習慣&好き嫌い—

NO. 51



あの凄かったラーメンブーム、最近はどうなんでしょう？ このところ外食がしづらくなっていますが、「あの店の、あのラーメンじゃなきゃ！」なんて“こだわり”のある方は、今もその味を求めて行くのでしょうか。もしかしたらテイクアウト？ ラーメンじゃ、なかなか難しいですかね。しょうゆ、みそ、塩味と、そのくらいの好き嫌いは、誰にでも主張があると思います。みなさんは？

“こだわり”って、人と関わるのが苦手な子の行動の代名詞みたいになっていて、とにかく好ましくない行動のように扱われがちです。じつは、その子と向き合っていく上で、わかりやすく入りやすい糸口なんですけどね。

それに付き合っていると、他のことがまわらなくなったり、時間に間に合わなかったり、その場に居にくくなったり。人の輪の中で生活していく上で支障になることも多いと思います。わかってもらえる場所なら見守れますが、そういうところばかりではないですからね。いつもいつもその姿を見ているのも、時には苦しくなるかと。

でもね、“こだわり”が几帳面と呼び方を変えるときもあります。生活習慣きっちり君は、物の片づけには誰よりも長けている。まっすぐなものはまっすぐに、服をたたむときには常にこのやり方で。だから全部きっちり片付けられる。融通の利かない部分と向き合うのではなく、できること、わかることを増やしていくことで、その姿が「長けている」＝長所、として活かせていきます。

夕方、毎日毎日同じ遊びを同じように繰り返し、同じところで声をかけてほしい子もいます。日中いろいろ頑張ってきた帰宅後の時間、自分を取り戻すための時間なら、そういうメッセージだという受け止められる余裕があるときは、そっと見守り、急かさず時間を保障することもできます。その時間があることで、他で少し柔軟な関わりができているのかもしれない。

モノをクルクル回すことが多い子がいます。それが「何だか暇になっちゃった」「今何をしたいのか、わからないよ」というメッセージだとしたら、クルクル回しを止めさせるよりも、少しずつ遊びを増やしていく方針で。楽しいものが見つければ、いつの間にか、回数が減り、気にならなくなってくる。

人形やタオル持ち続けていることで、今の不安を解消できるのなら、それでOK。その場を楽しめて、頼れる大人がいて、不安材料が少しずつなくなってくれば、きっといらなくなる。手放させるのではなく、どう過ごせばいらなくなるのか、一緒に考えていけばいいですね。

ラーメン巡りではないですが、こだわりが楽しみにも繋がって、誰かと、とことん追求することで素晴らしい趣味となるかもしれません。

“こだわり”と呼ばれそうなことを“まろやか”にしていく方策は“こだわり”の外側にあります。心地よく人に頼り、人から学び遊んでいく中で、楽しめることやできることのメニューを増やしていけば、その行動は“几帳面な習慣”と名を変えたり、そうする必要がなくなったりしてきます。少しまろやかになって“好き嫌い”程度に収まれば、もう大したことではなくなります。

ところで、ラーメンはしょうゆですか？ みそですか？ それとも塩？ (R2. 8) K

